

しぜん がくしゅうかん だよ トキと自然の学習館 便り

がっ できごと
～6月の出来事～

れいわ ねん がっ
令和6年6月
VOL.80



できごと
出来事
①

すだ ヒナの巣立ち

トキみ～てのヒナは、ふ化から41日目となる6月1日(土)に巣立ちを迎えました！

長岡市トキ分散飼育センターでは、ヒナが初めて巣から両脚で出る事を「巣立ち」と呼んでいます。巣立ち後は呼び方が「雛」から「幼鳥」へ変わり、行動範囲もぐっと広がります。

巣立ちの3日後には初めて飛翔して地面に降り、池でドジョウを食べる事が出来ました！

この時期の幼鳥の翼は外側が灰色、内側は淡黄色をしています。幼鳥は10月頃、佐渡トキ保護センターに移送が予定されていますので、それまでにぜひ見にお越しください♪



淡黄色の翼を覗かせる幼鳥と
見守るさくら(右上)



力強く羽ばたき飛び上がる幼鳥



6/1 止まり木の端へ初めて歩き出した幼鳥(真ん中)と
尚脇に寄り添うゆう(右)とさくら(左)



6/4 手前の止まり木へ初めて飛んだ幼鳥(手前)と
見守るゆう(奥)



6/4 池でドジョウを捕まえた幼鳥(右)と
一緒にドジョウを探すゆう(左)

ながおか し う わ ほうちよう 長岡市生まれの2羽の放鳥

できごと
出来事
②

6月4日に佐渡市で第30回目のトキの放鳥が行われました。放鳥された17羽のトキのうちの2羽(个体番号No.529とNo.531)は、昨年この長岡市で生まれたトキたちでした！

放鳥したトキたちは頭上を旋回した後、多くは背後の山林へ元気に飛び去りました。

今回は初めての佐渡市北部・大佐渡地域からの放鳥でした。現在、野生のトキは佐渡市中央部の平野に集中しており、安定した繁殖が難しいという課題があります。その改善策として、今回の放鳥で生息域拡大を図りました。

長岡市生まれのトキたちも、大佐渡地域でたくましく生き抜いてくれる事を願っています！

写真提供：佐渡自然保護官事務所公式 Facebook



大佐渡地域・小野見地区
での放鳥の様子



飛び立った放鳥トキ



長岡にいた頃の NO. 529 と NO. 531 <令和5年撮影>